

# 中期目標及び中期計画(原案)に掲げる主な取組み

## 【目指すべき大学像】

21世紀の地域社会を担う  
人材育成の拠点

地域社会の発展に貢献  
する知的創造拠点

県民に関われた  
学習・交流拠点

教育内容・教育方法の 充実	研究の推進、研究成果 の地域への還元	県民の多様な生涯学習 ニーズに対応
<p>専門教育の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文学部英語英米文学科では、卒業時までTOEIC®800点以上を目指す。</li> <li>環境共生学部食・健康環境学専攻では、管理栄養士国家試験の合格率90%を目指す。</li> </ul> <p>アドミニストレーション 研究科に看護管理等の コース制を導入 など</p>	<p>地域連携センターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題研究や試験研究機関、地域企業との共同研究を推進する。</li> <li>センター内に食環境研究情報室を新設（食の安全安心、食育等を支援）</li> <li>県や市町村の行政課題解決に資する研究を推進する。</li> </ul> <p>科研費等への全教員申請の目標を設定 研究論文や著書等の発表数を学部毎に設定 など</p>	<p>学術情報メディア センターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>附属図書館、外国語教育センター、中央コンピュータ室を統合し、学術情報サービス提供を効率化</li> <li>図書館の開館時間延長や日曜開館を実施</li> </ul> <p>県民の生涯学習への 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業公開講座、出前講座の開設</li> <li>教員一人あたり1科目の授業公開講座の開講に取り組む。</li> </ul> <p>など</p>

## 業務運営の改善

人事・評価制度の構築	運営体制の改善
<ul style="list-style-type: none"> <li>任期制導入の検討</li> <li>兼業、兼職制限の緩和</li> <li>自己点検・評価の定期的な実施</li> </ul> <p>教育研究の活性化 産学連携の推進 業務運営への反映 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事長、学長の権限と責任の明確化</li> <li>学外者の参画</li> <li>外部評価や監事による監査結果の業務への反映</li> </ul> <p>意思決定の迅速化 多様な意見の反映 適正で効率的な運営の確保 など</p>